



謹教小だより

第 4 号

平成 29 年 5 月 10 日



なよたけのひびぜんさい

奈与竹之碑前祭、合唱部の6年生参加



「奈与竹之碑」は、市内門田町北青木の善龍寺の境内にあります。戊辰戦争で亡くなった233名の会津藩婦女子の名前が刻まれています。その中に、本校で歌い継がれている「なよたけの歌」を詠んだ、会津藩家老西郷頼母の妻、西郷千重子の名前もあります。

これら先人の供養のために、碑前祭は毎年5月1日、地区の方々の運営により行

われています。今般、碑前祭事務局より「是非、碑前祭で謹教小学校の子どもたちに『なよたけの歌』を歌っていただきたい」という依頼を受け、その代表として合唱部の6年生9名が参加してきました。

なよ竹の 風にまかする 身ながらも たわまぬ 節は ありとこそきけ

子どもたちは、顧問の佐藤祐介先生の指揮に合わせ、西郷千重子辞世の句「なよたけの歌」を気持ちを込めて歌いました。亡き先人に届けとばかり、清廉な歌声が境内に響きました。碑前祭に参加していた方々から、感謝とお褒めの言葉をいただいて帰校しました。長年、本校に歌い継がれてきたこの歌を、これからも大事に歌っていきたいと思います。

学校図書館支援員の紹介

今年度から、市教育委員会より、学校図書館支援員が配置されることになりました。支援員は、

青田 清美 先生です。

青田先生は、三中、日新小、謹教小の3校に週4日間勤務します。本校には週1日、火曜日に勤務していただ

たく予定です。(2日の週もたまにあります) 読書をする子が増えたり、図書室での調べ学習が充実したりすることと思います。青田先生、お世話になります。

尚、今年度も保護者の方々に図書館ボランティアをお願いしたいと考えております。近く通知を出しますので、どうぞよろしくお願ひします。



学校ニュース

第1回避難訓練を行いました



9日(月)2校時、地震を想定した避難訓練を行いました。揺れから身を守る方法として、机の下にもぐり脚をつかんで揺れがおさまるのを待つ訓練(左写真は1年1組です。しっかりもぐっています。)をし、その後、放送をよく聞いて正しく避難する訓練をしました。

また、5年生の少年消防クラブ員による、水消火器の実演があり、消火器の使い方について全校生が学ぶことができました。とてもよい学習をしました。(右写真)



6年生、ありがとう!

この行事でも6年生は大活躍です。終了して教室に入るときには、上ズックに着いた砂を落とすために雑巾を用意したり、拭いてあげたりと、1,2年生のお世話をする優しい姿が見られました。(左写真)



防火シャッターの確認

今回の訓練では、防火シャッターの確認も行いました。火事の広がり防ぐための大事なシャッターであること、ゆっくり降りてくるけれども大きな力が加わるので、絶対に下に潜ったりしないこと、等々を先生の説明を聞いて学びました。(右写真は3年生)



いざというときに、少しでも落ち着いた行動をとることができるように、お家でも地震や火事の際の避難について、話題にしてみてください。

危険な遊びをしていませんか?

日が長くなり、外で遊ぶことも増えてきたことと思います。体をつかって遊ぶことはとてもよいことですが、危険な遊びをしていないでしょうか。自転車、危ない場所、他の人の迷惑、帰宅時刻等々、ルールを守る力を身に付けられるようご家庭での指導をお願いします。

また、ゲームのやり過ぎや貸し借りのトラブル防止は大丈夫でしょうか。体への影響(やり過ぎで学習に集中できない)や物の紛失で生じる交友関係の問題等、こうしたことも「危険な遊び」ですから、目をかけ声をかけていただきたいと思います。

【ちょっといい話 68】

GWが終わり、元気な子どもたちの姿が戻ってきた。何よりである。休みの間、教頭先生は学校の見回りに来てくれた。その教頭先生からこんな報告があった。「ゴミがあまり落ちていないんです。校庭には誰でも自由に入れるので、学校によっては結構な量のゴミが落ちてるのですが、ここは少なくビックリしました。さすが謹教地区ですね。」遊びに来るのは本校の児童が多いだろうが、「自分の学校にゴミは捨てない」という思いを持ってきているのだろう、そのマナーが他のゴミ捨ても防いでいるのである。嬉しい報告であった。

